

# 価格高騰重点支援給付金に関する補正予算や条例の一部改正など 13 議案を審議

令和5年第2回定例会は6月1日に開会し、6月21日までの21日間の日程で開かれました。今定例会では、条例の一部改正3件、条例の廃止1件、補正予算2件、その他財産の取得など7件の計13議案が市長から提出され、審議を行いました。これらの議案についての審議結果は、15ページの表のとおりです。

## 改正 深谷市税条例

森林環境税と軽自動車税に関する規定整備のための改正です。

**Q** 森林環境税の賦課徴収の対象者と金額は。

**A** 国内に住所のある個人に対して課税され、市民税、均等割と合わせて1人年額1,000円が徴収される。本市の対象者は、令和3年度の決算ベースで均等割の課税者が7万3,701人で、金額は約7,370万円である。

**Q** 市が代わって徴収する理由は。

**A** 森林環境税及び森林環境譲与税に関する法律に基づき創設された。その法律により賦課徴収は市町村が行うとしているため、市条例において必要な

規定の整備を行い、徴収する。

**Q** 国から譲与される森林環境譲与税の基準と金額は。

**A** 人口割や人工林の面積、林業の就業者数などを按分して譲与される。令和3年度の決算ベースで1,186万4,000円である。

**Q** 特定小型原動機付自転車(電動キックボード等)の軽自動車税に関する規定が整備されたが、税額は。

**A** 原動機付自転車と同様、年額2,000円である。

## 改正 深谷市手数料条例

低炭素建築物新築等計画認定申請手数料等の額を改定等するものです。

**Q** 低炭素住宅や省エネ住宅とは。

**A** 低炭素住宅は二酸化炭素の発生を抑制するため低炭素化の措置がされている住宅。また、省エネ住宅は、建築物の熱や電気エネルギーの節約を目的に、外壁や屋根などの断熱性能、冷暖房、照明等のエネルギー消費について、一定以上の省エネ性能を有する住宅である。

**Q** 年間の申請件数は。

**A** 低炭素は平成24年から、省エネは平成28年から制度があるが、現時点での申請は1件もない。

**Q** 県によって改正額が異なるが、埼玉

県に準じているのか。

**A** 埼玉県の金額を参考に、県と同額とした。

**Q** 低炭素建築物の認定制度に関して、電子申請が進められている自治体が多いが、深谷市は、ゼロカーボンシティふかや宣言を行っているため、電子申請にしているべきではないか。

**A** 市全体として、電子申請化に取り組んでいく方向性で動いているため、なるべく早く電子申請ができるよう、内部調整を図っていく。

## 取得 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車等

深谷市消防本部川本分署へ配備する災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車等を取得するものです。

**Q** 災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車の川本1号車は、緊急消防援助隊の補助金を受けての取得だが、この車両の役割や出動区分は。

**A** 今回取得予定の川本1号車は、水槽付きの消防ポンプ自動車のため、埼玉県大隊の役割は、消火小隊である。出動区分は、第一次出動陸上隊に編成される予定である。

**Q** 深谷市消防団第13分団の消防ポンプ自動車は、ガソリンエンジンの理由は。

**A** 今回取得予定の消防ポンプ自動車は、車両総重量3.5t未満となっている。準中



型免許の新設に伴う改正道路交通法が施行され、施行後に取得した普通運転免許では、運転できる自動車の車両総重量が3.5t未満となった。

令和4年にディーゼル車の排出ガス規制が強化され、排出ガス規制値に対応した3.5t未満で登録できるディーゼル車がないため、規制値に対応するガソリン車となっている。

## 補正 令和5年度一般会計 補正予算(第3号)

マイナポイントに関する行政情報化推進事業、パティオに関する深谷グリーンパーク管理運営事業など、合計2億1,331万5千円の増額補正です。

**Q** 行政情報化推進事業

**A** マイナンバーカードの交付率は、4月末現在、交付数8万8,569枚、62.6%である。

**Q** カードのトラブル等の相談はないか。

**A** 委託業者によると、システム自体が違いため現在のところ誤った証明書が発行されたことはない。

**Q** 深谷グリーンパーク管理運営事業

**A** ウォータースライダーの損傷の詳細を。

**Q** 鉄骨柱の錆による腐食、階段に小さな穴等が確認された。今回の補修でどのくらいの耐用年数

になるか。

**A** 2~3年程度は使用できると報告を受けている。錆は今後受けるので、詳細な調査と設計費用を計上した。

**Q** 人気の施設とはいえ、収入より維持費がかかり、そのために市の財源から捻出している。将来的にも心配だが、庁内で検討してはどうか。

**A** 平成29年度の長期保全計画では、令和9年度に大規模改修する。パティオの維持管理には費用もかかるが、農業PRや健康促進、集客の役割を踏まえて検討していきたい。

## 反対討論

公民館は、住民のために実際の生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的にした施設であり、市民との協働のまちづくりを進める拠点でもある。公民館活動において、設置理念を具現化するために、専門的知識を持った職員配置が必要だと考える。指定管理者に公民館運営を任せると、業務負担が含まれる本議案には反対である。

鈴木 三男

## 人事案件

- 深谷市監査委員
    - 富田 勝
  - 人権擁護委員
    - 高野 君江
- ※人事案件については敬称略
- 議会改革委員会を設置**
- 6月21日、互選により委員長に角田義徳議員、副委員長に柿澤祐介議員を選出しました。
- 諮問事項
- ・長期欠席議員に係る議員報酬のあり方に関すること
- 永年勤続議員表彰**
- 勤続20年表彰
    - 柴崎 重雄氏
  - 勤続10年表彰
    - 小嶋 隆氏